

令和7年度：第7回 西蒲区自治協議会 総務部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和7年度 第7回総務部会
- 日時：令和7年10月30日（木）午後2時50分～午後4時20分
- 場所：巻地区公民館 2階 実習室
- 出席委員：栄原委員、本田委員、近藤（実）委員、小柳委員、吉田委員
　　本井文雄委員、田中（久）委員、米山委員
　　以上8名（欠席：乙山委員、佐々木（寛）委員）
- 事務局：地域総務課補佐、同課副主査
- 傍聴者：0名

◆会議内容

令和7年度区自治協議会提案事業について

- ・令和7年度提案事業の事業スケジュール、事業タイトル、アフタートーク、展示ブース及びチラシについて協議を行いました。
- ・チラシに載せる事業タイトルは、防災朗読劇をメインとし、情報リテラシーやフェイクニュースなどの表現を分かりやすく、伝わりやすいものにすることとしました。
- ・アフタートークは、テーマを情報に関わるものにすることとし、出演者について提案があり、出演依頼の調整をすることとしました。
- ・展示ブースは、出展者について提案があり、出演依頼及び展示内容の調整をすることとしました。
- ・チラシは、印刷物を西蒲区に全戸配布する方向で調整をすることとしました。

<主な意見>

- ・情報リテラシーやフェイクニュースなどの表現を一般の方にも分かるように意味を付け加えたらどうか。
- ・情報リテラシーとメディアリテラシー、フェイクニュースとデマ情報など色々な表現をしているので、言葉を統一したらどうか。
- ・アフタートークでは、防災の中でも情報をテーマとして、ハザードマップの見方や活用の仕方を扱ったらどうか。
- ・アフタートークで会場からの質問回答をするコーナーやクイズなどを行い、一体感がでたらよいのではないか。
- ・防災情報として、避難指示など危険度で表現が変わるが、分からない人も多いのではないか。
- ・展示ブースに西蒲区の各中学校区のハザードマップを掲示し、防災士や自治協委員が説明したらどうか。

その他

なし

令和7年度：第7回 西蒲区自治協議会 保健福祉部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和7年度 第7回保健福祉部会
- 日時：令和7年10月30日（木）午後2時55分～午後4時10分
- 場所：巻地区公民館 2階 研修室
- 出席委員：田中（隆）委員、鈴木委員、拝野委員、後藤委員、池田委員、原委員、藤田委員
以上7名（欠席：谷原委員、岩見委員、佐々木（貴）委員）
- 事務局：健康福祉課長、地域総務課係長、同課副主査
- 傍聴者：0名

◆会議内容

令和7年度区自治協議会提案事業について

- ・コミュニティ協議会等の地域に向けた「高齢者の移動支援」の意識づけを目的として、今年度実施する勉強会の具体的な内容を協議しました。
- ・日程は12月4日（木）と12月18日（木）のいずれも午前中で、会場は西川地区公民館に決まりました。
- ・内容は、高齢者の移動支援に先進的に取り組んでいる団体による取り組み紹介と、意見交換となりました。
- ・講師は、庄瀬地域コミュニティ協議会、まちなか微助っとクラブ（巻地区コミュニティ協議会保健福祉部）、潟東西部地区ささえ愛ネット、中之口地区コミュニティ協議会、西蒲区支え合いのしくみづくり会議 塩澤敏男氏にお願いすることとなりました。
- ・開催案内は、区内コミュニティ協議会のほか、地区社協や西蒲区支え合いのしくみづくり推進員、区内包括支援センターへ発出することとしました。
- ・そのほか、講師に聞きたいことや意見交換の進め方、参加者アンケートの項目について意見交換し、次回の部会で最終決定することとなりました。

その他

なし

令和 7 年度：第 7 回 西蒲区自治協議会 まちづくり・産業部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和 7 年度 第 7 回まちづくり・産業部会
- 日時：令和 7 年 10 月 30 日（木）午後 2 時 55 分～午後 3 時 55 分
- 場所：巻地区公民館 3 階 視聴覚室
- 出席委員：石田委員、上原委員、岩崎委員、相馬委員、大橋委員、滝沢委員
以上 6 名（欠席：近藤（イ）委員、本井文吉委員、岡崎委員、五傳木委員）
- 事務局：産業観光課長、地域総務課主査
- 傍聴者：0 名

◆会議内容

令和 7 年度区自治協議会提案事業について（にしかん応援隊）

- ・「コミ協応援隊伴走支援チーム」について、各チームからヒアリングや支援した内容について報告がありました。

<主な報告内容>

- ・コミ協はまだあまり募集シートの書き方や募集のやり方に慣れていない。伴走支援チームと一緒に具体的な書き方のアドバイスをしてコミ協と一緒に考えられたのはよかったです。
 - ・応募してもらうためには、お手伝いしていただく内容や募集ターゲットの明確化は大事だと感じた。
 - ・応募にあたり、背中を押してくれる何かが大事。（イベント自体の魅力、募集シートの内容、口コミなど人からの情報、など）
 - ・応援隊制度により、他の地域のイベントや良さを知ることができた。反対に自分の地域の良さを外部の人に見てもらい、知ってもらえるという点でも改めて良い制度だと感じた。
 - ・応援隊は人手不足の解消だけでなく、将来の担い手の発掘、育成という目的もあるのだが、それがあまりコミ協に伝わっていないところもあるようだ。
-
- ・「にしかん応援隊」制度の PR のため、地域情報誌へ広告を掲載することとしました。
 - ・次年度に作成予定の PR 用広報物について検討を行い、次回の部会で詳細を決定し、今年度中に内容を固めることとしました。

その他

なし

西蒲区自治協議会 第4回広報部会 会議概要

◆会議概要

- 日時：令和7年11月11日（火）午後2時00分～午後2時45分
- 場所：西蒲区役所 会議室
- 出席委員：乙山委員、小柳委員、佐々木（貴）委員
以上3名（欠席：相馬委員、岩見委員、滝沢委員）
- 事務局：地域総務課副主査2名
- 傍聴者：0名

◆会議内容

西蒲区自治協議会通信「じちきょう」第24号の発行に向けて

- 「じちきょう」第24号の紙面について、協議を行いました。
- 協議の結果、紙面は西蒲区PR大使の難波様と西蒲区長の対談（聞き手として吉田会長も参加）の様子、裏面は今年度の3部会の事業報告とすることとしました。